はじめての人のための PHP更新ガイド

「PHPを上げてください」と言われたら読む本（無料版）

RY Web　｜　2026年10月版

このガイドは、ホームページを自分で作った方や、作ってもらったまま何年も触っていない方に向けて、「PHPってなに？」から、自分で確かめて更新するまでを、できるだけやさしい言葉でまとめたものです。無料でお使いいただけます。

PHPのサポート終了日（PHP公式サイトで2026年10月23日に確認）

版	修正（セキュリティ対応）の終了日
PHP 8.1	2025年12月31日（終了済み）
PHP 8.2	2026年12月31日

出典：https://www.php.net/eol.php ／ https://www.php.net/supported-versions.php

PHPってなに？

ホームページには、ただ表示するだけのページと、その場で中身を組み立てて見せるページがあります。WordPress（ワードプレス）で作ったホームページは、後のほうです。

たとえると： PHPは、ホームページの「台所」です。 お客さんがページを開くたびに、台所（PHP）がレシピ（WordPressやプラグインのプログラム）どおりにページを組み立てて出しています。

仕組みを一言で： PHPは、レンタルサーバーの中で動いているプログラムの言葉と、それを動かす仕組みです。ページを開くたびに、サーバーの中でPHPが動いて画面を作ります。

PHPにも「版（バージョン）」があります。スマホのOSと同じで、古い版はだんだん直してもらえなくなります。

なぜ今、更新の話が出ているの？

- **古い版は、弱いところが見つかっても直してもらえません。** PHP 8.1 までの版は、もう修正が出ない状態です（PHP 8.1 は2025年12月31日に修正終了）。 出典：PHP公式「終了した版の一覧」 https://www.php.net/eol.php
- **PHP 8.2 も 2026年12月31日で修正が終わります**（PHP公式の予定）。 出典：PHP公式「サポート中の版」 https://www.php.net/supported-versions.php
- **WordPressも古いPHPを切り捨てています。** リリース済みの WordPress 7.0 から、PHP 7.3 以下には対応しなくなりました（7.0・7.1 とも PHP 7.4〜8.5 に対応）。おすすめは PHP 8.3 以上です。 出典：WordPress公式 対応表（2026年8月19日更新） https://make.wordpress.org/core/handbook/references/php-compatibility-and-wordpress-

versions/ ／発表（2026年2月27日） https://ja.wordpress.org/2026/02/27/dropping-support-for-php-7-2-and-7-3/

- **サーバー会社が版を変えることがあります。** たとえばさくらインターネットは、重大な問題が見つかったときなどに、古い版の提供をやめて近い新しい版へ切り替える場合がある、と書いています。 出典：https://help.sakura.ad.jp/rs/2256/

古い版のままでも、すぐにホームページが見られなくなるわけではありません。ただ、早めに確かめておくと、急に切り替わったときに慌てずにすみます。

自分のサイトは当てはまる？ 見分け方

次のどれかに当てはまるなら、一度確かめておきましょう。 - [ ] WordPressでホームページを作った（管理画面に「ダッシュボード」がある） - [ ] サーバー会社から「PHPのバージョン」についてのメールが届いた - [ ] WordPressの管理画面に「PHPの更新が必要です」「PHPの更新を推奨」と出ている - [ ] 何年もWordPressやプラグインを更新していない

当てはまらないことが多いケース - Wix・ジンドゥー・ペライチなど、ホームページ作成サービスで作った（PHPの管理はサービス側です） - ページを手書きのHTMLだけで作った（PHPを使っていない場合があります）

5分でできる 自己チェック

その1：WordPressの管理画面で見る（いちばん簡単）

1. WordPressの管理画面にログイン
2. 左のメニュー「ツール」→「サイトヘルス」
3. 上のタブ「情報」→「サーバー」を開く
4. 「PHPバージョン」の数字をメモ 出典（WordPress公式・英語）：
   https://wordpress.org/support/update-php/ ※ここでは**見るだけ**です。何も変わりません。

その2：レンタルサーバーの管理画面で見る

どの画面でも「見るだけ」にして、保存ボタンは押さないでください。

サーバー	見る場所	公式マニュアル
エックスサーバー	サーバーパネル →「PHP Ver.切替」	https://www.xserver.ne.jp/manual/man_program_php_ver.php
ロリポップ！	ユーザー専用ページ →「サーバーの管理・設定」→「PHP設定」	https://lolipop.jp/manual/user/php-setting/（案内元：https://lolipop.jp/manual/hp/cgi/ ）
さくらのレンタルサーバ	サーバーコントロールパネル →「スクリプト設定」→「言語バージョン設定」（ドメイン名でログイン）	https://help.sakura.ad.jp/rs/2241/
ConoHa WING	コントロールパネル →「WING」→「サイト管理」→「サイト設定」→「応用設定」→「PHP設定」	https://support.conoha.jp/w/configphp/

※ロリポップ：公式マニュアル本文で確認済み（2026-10-23）。PHP 7.1未満から上げると元に戻せないため、7.0以下の人は🔴。 ※ほかのサーバー（お名前.com、カラフルボックスなど）は未確認です。

その3：あわせてメモしておくこと（2分）

- WordPressのバージョン（管理画面「ダッシュボード」→「更新」）
- 「更新」画面に、更新待ちのプラグインやテーマがいくつあるか
- 作った人が独自に手を入れていないか（分からなければ「分からない」でOK）

結果の見方（3つに分かれます）

🟢 自分でできそう

- PHPが **8.3以上**、またはPHPが 8.1〜8.2 で、WordPress・プラグインが最新か、ほぼ最新
- ネットショップや会員機能はない → 「自分で更新する手順」を見ながら進められます。

🟡 注意して進める

- PHPが **7.4〜8.0**
- 更新待ちのプラグインがたくさんある、何年も更新していない

- お問い合わせフォームや予約など、止まると困る機能がある → バックアップを必ず取ってから。手順の途中で不安になったら、そこで止めて相談してください。

🔴 頼んだ方がよい

- PHPが **7.3以下**（ロリポップで7.0以下は戻せない点にも注意。WordPress 7.0以降に更新できません。出典：https://ja.wordpress.org/2026/02/27/dropping-support-for-php-7-2-and-7-3/ ）
- ネットショップ・会員サイト・独自のプログラムがある
- 管理画面やサーバーにログインできない、作った人と連絡がつかない
- すでに表示がおかしい、真っ白になった → 無理に触らず、専門の人に相談しましょう。（RY Webでは、サーバー・WordPressの作業代行やログイン情報の受領は行っていません）

※この分け方は目安です。サイトの作りによって変わります。

※この分け方は目安で、サイトにより結果は異なります。作業前にバックアップを取り、ご自身の判断と責任で行ってください。ログイン情報やパスワードは、当方にも誰にもメールで送らないでください。

自分でPHPを更新する手順

> **この手順は一般的な流れで、サイトにより結果は異なります。作業前に必ずバックアップを取り、ご自身の判断と責任で行ってください。**
>
> 先に知っておいてほしいこと：どんなに気をつけても、テーマやプラグインの相性で表示がおかしくなることがあります。そのときに戻せるように、**手順1のバックアップだけは飛ばさないでください。**作業は、お客さんの少ない時間帯に、1時間ほど取れる日にやるのがおすすめです。

手順0：メモを取る（5分）

- いまのPHPの版（例：7.4.33）← **戻すときに必要**
- WordPressの版、使っているプラグインの一覧（スマホで画面を撮ってもOK）

手順1：バックアップ（15〜30分）

次のどちらか、できれば両方。 - **サーバー会社のバックアップ機能**を確認（多くのサーバーに自動バックアップがありますが、何日分残るか・戻し方は会社ごとに違います。各社のマニュアルで確かめてください） - **バックアップ用のプラグイン**（例：UpdraftPlus など）で「ファイル」と「データベース」の両方を保存し、パソコンにもダウンロード WordPress公式も、まずバックアップを取るよう案内しています：https://wordpress.org/support/update-php/

手順2：WordPress・テーマ・プラグインを新しくする（10〜20分）

1. 管理画面「ダッシュボード」→「更新」
2. まずプラグインを更新 → テーマ → WordPress本体
3. 1つ更新するたびにサイトを開いて、おかしくないか確認
4. 何年も更新されていないプラグインがあれば、メモしておく（新しいPHPで動かないことがあります）

手順3：PHPを切り替える（5分）

- 自己チェックの表の画面で、新しい版（WordPressのおすすめは 8.3以上）を選んで保存
- 7.4など大きく古い場合は、いきなり最新にせず **8.3** にするのがおすすめです
- 各社の手順：エックスサーバー https://www.xserver.ne.jp/manual/man_program_php_ver.php ／ さくら https://help.sakura.ad.jp/rs/2241/ ／ ConoHa WING https://support.conoha.jp/w/configphp/ ／ ロリポップ https://lolipop.jp/manual/user/php-setting/

手順4：確認する（10分）

- [ ] トップページ、よく見られるページがいつもどおり表示される（スマホでも）

- [ ] お問い合わせフォームから自分あてに送ってみて、届く
- [ ] 管理画面にログインできて、投稿の編集画面が開く
- [ ] 「サイトヘルス」で新しいPHPの版になっている

困ったときの戻し方

- **画面が真っ白・エラーが出た → まず手順3の画面で、メモした元の版に戻す。** さくらは「古いバージョンを選択し直すことで元の環境へ戻すことができます」と案内しています（https://help.sakura.ad.jp/rs/2241/ ）。
- 戻しても直らない → 手順1のバックアップから戻す（サーバー会社の復元機能、またはプラグインの復元）
- **ロリポップの注意：** PHP 7.1 未満から上げた場合は、元の版に戻せません（公式マニュアル https://lolipop.jp/manual/user/php-setting/ ）。この場合は戻し方がバックアップだけになるので、🔴として相談をおすすめします。また、切り替えの反映に5〜10分かかります。
- それでもだめ、または不安 → そこで作業を止めて、専門の人に相談してください。RY Webでは、サーバー・WordPressの作業代行やログイン情報の受領は行っていません。慌てて色々触ると、原因が分かりにくくなります。

うまくいったら

- 月に1回くらい「更新」画面を見る習慣をつけると、次に慌てずにすみます。

※この手順は一般的な流れです。結果はサイトの作りによって変わります。

ご注意（RY Webが行わないこと）

- サーバー・WordPressの作業代行は行っていません。
- ログイン情報・パスワードは受け取りません。メールなどで誰にも送らないでください。
- このガイドは一般的な説明で、サイトによって結果は異なります。作業の前には必ずバックアップを取り、ご自身の判断と責任で行ってください。

直し続けるか、作り直すか ― ホームページそのものを見直したい方へ

PHPの更新は、一度やれば終わりではありません。PHPもWordPressも、数年ごとに新しい版へ移っていきます。

古いテーマやプラグインを使っているサイトや、作った人と連絡が取れないサイトでは、更新のたびに「動かなくなるかもしれない」と気をつけながら直すことになります。そうしたサイトは、今の仕組みで作り直したほうが、その後の手間が少なく、安全に保ちやすい場合があります。

もちろん、今のサイトで問題なく更新できているなら、そのまま使い続けて大丈夫です。どちらがよいか迷ったときは、お気軽にご相談ください。

RY Web（ホームページ制作） - 1ページサイト 29,800円／5ページサイト 59,800円／追加ページ 1ページ 9,800円（いずれも税込） - 更新の手間が少ない作りもご相談いただけます。お見積りは無料です。 - ご相談：ry-web.com のお問い合わせ、またはメール info@ry-web.com - 担当：RY Web